

# きらら全員協議会(第4回)を実施しました

本年度最後の全員協議会を2月22日(火)に開催しました。内容は本年度の「きらら」の活動の振り返りと今後の方向についてが中心となりました。以下に概要をお知らせします。大変お忙しい時期に関係機関の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

### 伴委員長より

皆様のご理解とご協力のもと、きららの活動を1年間行ってきた。1年目ということでもどちらかという事務局にお世話になることが当初は多かったが徐々に推進委員会として動けるようになってきた。

### 校長より

今年1年大変お世話になりました。この1年や今後の見通しについてその象徴となる活動が文化祭でのプランター一枠づくりであった。今後は保護者や地域の方々の立場や状況を理解しながら学校づくりにご協力いただきたい。

## プランター枠づくりの発展と関連

- ◎ 文化祭にて木工教室
- ◎ 5年生の体験学習
- ◎ 地域の方々のご協力



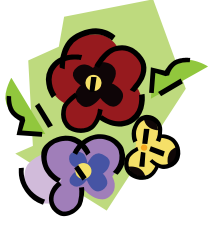
- ◎ 4～6年の人権標語の取り組み
  - ◎ 文化祭での掲示発表
  - ◎ 市の人権フェスタにて掲示
- 人権標語(地区人権同和推進部会)

- パンジーの移植
- ◎ 5年生の体験学習
- ◎ 地域(青少年育成部会)の花いっぱい運動との連動



水沢地区の環境美化・心の美化

- ・学校を美しくから地域を美しくへ
- ・人にやさしい地域社会へ



### 活動報告(事務局荒木より)

\*具体的な活動についてはこれまでの「きらら」の紙面でお知らせした通りです。水沢小のホームページにもこれまでのものを掲載してあります。今回の報告の要旨だけ以下にまとめました。

- ・ 四日市市教育施策委員の視察があり「きらら」の取り組みに高い評価を得た。
- ・ 「きらら」の取り組みで保護者や地域の方々とながり、教師は静かに熱く燃えた。
- ・ 文化祭を始め様々に3者が交流し合う場ができ、子どもたちにプラスに働くことが多かった。ボランティアの申し出も多くあってありがたかった。
- ・ 「安全・安心」ではそれぞれの機関や立場で子どもたちの登校指導やパトロールを行っていただいた。キャンペーンは相互理解と顔合わせの意味もある。
- ・ 「体験活動」で本物に触れることができ、教育効果が高まり、米作りやお茶の体験活動は地域や産業理解にもつながるという利点がある。
- ・ 文化祭では地域の文化の吸収の場となり学校からは今の教育の一端を発信できたし、地域や保護者の方々、ボランティアやゲストティーチャーの皆さんとふれあうことができ、有意義であった。
- ・ 「学力向上」では“地域を学ぶ 地域に学ぶ”を基本にしている。水沢の伝統文化の教材化などは以前から取り組んでいる。
- ・ アンケート結果から8割の保護者がコミュニティの取り組みを理解している。「地域との連携をしている」とらえている」は9割を超える。潜在的なボランティア意識も比較的高いという結果が出ている。
- ・ 保護者のコミュニティへの期待値が高いものは「児童の安全」「諸々の活動支援」「美化活動」である。

### 来年度の活動案(小粥副委員長より)

- 学校環境美化などの推進
  - ・ 清掃指導の充実
  - ・ 美化意識の向上
  - ・ 花いっぱい運動の推進
  - ・ 掲示物(水沢の歴史や文化など)による地域啓発や美化
- 登下校パトロール、交通安全指導の充実
- 地域ぐるみの防災訓練の試み
- 緑茶の児童への提供、お茶についての学習の充実



### 教育委員会より

- 水沢地域の協力の素晴らしさを実感した1年であった。
  - ・ この地域ならではの体験活動など豊かな体験が学力や徳力の基盤となる。
  - ・ 子どもたちが安全安心できる地域づくりが進行している。
  - ・ 保護者や地域、学校の多忙感は張り合いとなって参画意識がたかまってくる。
- コミュニティスクールを進めている学校は学校環境がよくなり子どもたちの学校生活は安定して学力も向上するとも言われている。